

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている				
	やや良く なっている	スーパー（営業 担当） 衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き 単価の動き	・営業時間の延長により売上が増加している。 ・アウター衣料が全体的に売れており、特に高額品が 好調である。その他の商品についても、単価、販売量 ともに伸びている。	
	変わらない		商店街（代表 者）	来客数の動き	・来客数の減少が続いており、特に土日が少ない。こ のような状況では、客単価を上げて、売上がなかなか 追いつかない。
			一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	お客様の様子	・来客数は多いが、売上に結びついていない。毎週、 週刊誌の記事をメモ書きして、買わずに帰る客もお り、欲しくても我慢する傾向がみられる。
			乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・割安な商品やメンテナンスサービスについてのみ、 客の反応が良い。
			乗用車販売店 （管理担当）	来客数の動き	・新型車を発表したにもかかわらず、思ったほど来客 数が伸びていない。
			観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・宿泊客が伸びていない。昼食や休憩など日帰り客は 増えているが、観光旅行者が少ない。
			都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・来客数の減少傾向が落ち着き、前年並みに戻ってき ている。
			旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・スキーツアーや年末年始の旅行相談など、来客数は 例年並みである。
			通信会社（総務 担当）	お客様の様子	・通信費の節約傾向が続いている。
			ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・ゴルフシーズンということもあり、週末の来場者は 多いが、平日が思ったよりも伸び悩んでいる。
			その他住宅〔不 動産〕（経営 者）	お客様の様子	・価格さえ安ければ、事業用、個人の中古住宅ともに 引き続き売れている。
	やや悪く なっている		一般小売店〔菓 子〕（販売担 当）	来客数の動き	・買い控えによる来客数の減少が止まらない。
			百貨店（総務担 当）	販売量の動き	・必要最小限度のものしか買わない。また、単価も下 がっており、例えば、婚約指輪の単価は非常に落ちて いる。
			百貨店（営業担 当）	それ以外	・全体としては、来客数、売上、客単価ともに微増で あるが、婦人靴、若者衣料、雑貨が苦戦している。ま た、歳暮商戦についても、個人、法人ともに贈り先数 が減少傾向にある。
			スーパー（店 長）	競争相手の様子	・近くに競合店がオープンしたため、安売り販売競争 が激化している。
			家電量販店（店 長）	お客様の様子	・高額商品については、購入までに非常に時間がか かっている。また、生活必需品についても単価が低下 している。
			家電量販店（営 業担当）	お客様の様子	・家庭で十分に検討してから来店されるためか、店頭 で商品を選ぶ時間が短い客が多く、接客時間が2割以 上短縮している。また、まとめ買いをする客も減って きている。
			乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・年末に向けての販売量とは思えないぐらい少なく、 自動車に対する消費が少し冷え込んだままになっている。
			通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・携帯電話の解約が増加している。
悪く なっている		スーパー（店 長）	競争相手の様子	・競合店の広告チラシが週2回に増加しており、また、 原価割れ販売など、強烈なディスカウント販売を行っ ている。	
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・地元百貨店の閉店セールとそれに対抗する競合百貨 店の販売促進により、商店街の来客数に影響が出始め ている。	
		通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・販売量が毎月減少している。	
企業 動向	良く なっている	-	-	-	

関連	やや良くなっている	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・携帯電話など通信関係は、地域に密着した販売促進広告が予想より増えている。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が例年とほとんど変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・補修や小工事の案件は例年並みにあるが、単価が非常に低い。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・各社とも、収益、利益率の低下が続いている。
	やや悪くなっている	食品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えず、また、為替変動の影響もあり、厳しい状態にある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・購入したくても銀行から融資が受けられないため、見送りたいという声が多い。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・小口の土木関連工事の発注量は増えてきているが、競争が激しいため、成約率が極めて低い。また、成約に至った多くの工事は、採算ラインぎりぎりである。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・従来は、システム投資の回収期間が1年か2年であったが、今は、1年以内に回収できる案件でないと受注が難しい。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・地元テレビ局の年賀スポット広告を中止、または、減らすスポンサーが目立っている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新卒の求人数は減少してきているが、中途採用の求人数がそれを埋めるぐらい増加してきており、全体としては変わらない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者が増加する傾向が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・年末に向けて、繁忙期の派遣依頼が増える時期であるが、依頼件数が例年よりも少ない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・15か月ぶりにプラスに転じていた新規求人が0.7ポイント減となり、また、有効求人数も14か月連続でマイナスとなっている。新規求人は、主要産業の全てでマイナスとなっており、特に建設業と製造業は、2ケタのマイナスが6か月続いている。
悪くなっている	-	-	-	